



—淡路の情報いっぱい! 生活創造しんぶん—

VOL.121

月刊

ポケットあわじ

発行日 2012年6月1日

鶴島



鶴島(つるしま)。休暇村南淡路が建っている一帯で、源氏の武士が城を構えていたとされ、その城を鶴島城(弦島城)と呼んでいました。見晴らしもよく砦兼見張り台には絶好の島で、鶴島城の戦いでは平教経(のりつね)がわずかに数日で源兵を倒し敗戦の軍兵130余人の首が落とされたとされています。鶴島の少し離れたところに、強弓の跡と言われる岩「射切岩(いきりいわ)」がありその時の戦いの激しさが伺えます。(現在は危険なため見ることはできません)

淡路島平家物語



題字 応援隊 竹原 祐乘

大園島

題字 応援隊 竹原 祐乘



～平家ゆかりの三つの島～



福良には源平の争いに関係する島があります。

煙島(けむりじま)。源氏の武将熊谷直実(くまがいなおざね)に一の谷の戦いで切られた平敦盛(あつもり)の首が、父経盛(つねもり)の手で密かに茶毘にふされたと言いつたわれています。その時、煙がいつまでも絶えることがなかったので煙島と呼ぶようになったようです。敦盛は笛の名手であり愛笛「青葉の笛」もこの島に埋められたので「竹島」と呼ばれるとの説もあります。昔は、カンコ船という鳴門ワカメの摂取舟を横方向につなぎ合わせて足場板を置き、この島の紅蓮寺へ参拝していました。

煙島



大園島(おおぞのじま)。王すなわち天皇の園、安徳天皇が上陸したとも言われ王園島とも書きます。源平の合戦に敗れた平家が安徳天皇を奉じて、激しかった鳴門海峡を越えるために立ち寄ったとされています。潮が引いた時には陸続きの道が現れます。

(個人所有の島ですので立入りできません)

再起を図った平家の軍船が一時的に終結の場所とした福良湾は、かつては平家の別荘のような土地でした。一漁村で文字を知る人や、京言葉を知る人がいたと伝えられるのは、福良が平家と縁があったからと考えられています。

そう思って歩く福良は深い趣に魅かれる街でもあります。(徳田 壽春先生にお話を伺いました。) 応援隊: 納 智子

今月の特集

淡路島の平家伝説
淡路島平家物語

- P.1 ・平家と福良の縁
- P.2 ・お局塚・上灘地区に伝わる平家落人伝説
- P.3 ・岩屋平家めぐり・みちもりさん

もくじ

- P.4 ・だんじりに飾られた平清盛
・初夏の味覚 びわ(びわ 丸ごと活用術)
- P.5 ・世界的水泳選手 打越 雅美選手(洲本市在住)
・新ひょうご風土記カルタ
- P.6 ・淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ
- P.7.8 ・淡路の文化活動・イベント情報



南あわじ伊加利

おつぼねづか お局塚



問い合わせ

お局塚保存会 榎野 英昭さん
☎ 3 9 - 0 6 9 8

南あわじ市伊加利のお局塚(おつぼねづか)は、平家物語ゆかりの地、平通盛(清盛のおい)の妻で宮中一美女として知られた小宰相の局の墓といわれています。

お局塚保存会の榎野さんによると、「通盛と小宰相局はロマンスの末に結ばれたが、平家没落の悲運のため最愛の夫通盛は一の谷で討ち死にし、局は悲しみのあまり19歳の若さで、鳴門の海に身を投げ、南あわじ市阿那賀の海岸に流れ着いたといわれます。地元民はその運命をはかなみ、なきがらを源氏に見つからない様に、海から少し離れたこの地に吊った。」そうです。

塚は人里からかなり分け入った山の上であり、かつてここに平家の落人が追手を避けて隠れ住んだような形跡も…。昭和37年、元は苔むした草むらに小さな五輪塔があっただけの塚に供養塔が建立されて以来、保存会の方々がツバキの植樹や清掃など整備を続けておられ毎年4月18日に供養祭も営まれています。ほうきを手に落ち葉をはきながらお話される榎野さん。「山桜のころもいいですよ。わざわざ吉野までいかなくてもここで十分(笑)」近くには散策ルートも整備されています。



応援隊: 浜田 泰美
岡 八代井

洲本市 上灘

上灘地区に伝わる 平家落人伝説



住吉神社



源平の合戦に敗走した平家の落武者が住みつけたことがはじまりといわれる洲本市上灘

地区を訪れました。上灘地区は東から中津川、相川、畑田の集落があります。その中心地相川の旧上灘小学校(現在は廃校)に車を止め、集落の中の小路を歩いて行く



歴史を感じる石垣

と歴史を感じる石垣が続いています。この辺りは過疎化が進み空き家や空き地

が目立ちます。さらに谷筋を奥に向かってしばらくいくと常楽寺、

そしてその奥側には住吉神社がありました。

上灘の歴史を調べてみると、源平の戦いに敗れた立花安太夫正門は、郎党16名を伴い淡

路島に落ち延び柏原山を深く分け入り、太平洋に面する山懐に居を構えることにしたといわれています。また同じく大友党の12名もこの地に落ち延びました。その両党の出会いの場所が「落合所」といいます。上灘の中心地「相川」の地名もこのときに始まるそうです。このほか「高矢」「天王原」「馬飼山」などの地名は当時の都を懐かしんで名付けたものと伝えられて

います。高天(通称 祇園さん)という小高い山(249m)の頂上には八坂神社もあり、平家の落武者が京都の八坂神社にならって祀ったといわれています。(残念ながら今回は行けませんでした。)住吉神社の石段の両側に各2基の古い石祠がありました。これは落武者から何代か過ぎた約500年前の立花党のものだと伝えられています。

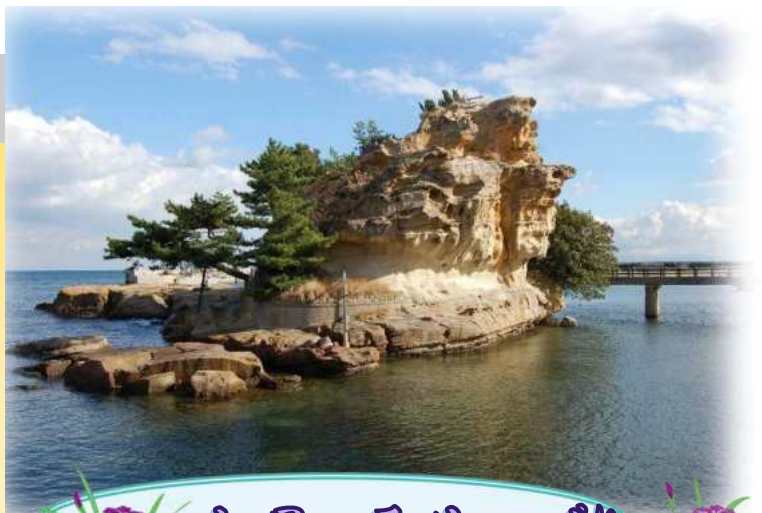


落武者ゆかりの石祠

今回上灘地区を訪れて遠い昔平家の落武者が残した歴史のほんの一部を肌で感じる事ができたように思います。応援隊: 田処 吉久

絵島 淡路島の玄関、岩屋ポートパーク前の絵島頂上には、平清盛の小姓だった松王丸の供養塔があります。清盛が兵庫に築港を始めましたが難工事だったためうまくいかず、30人の人柱をたてようとした。そこで、松王丸が自ら30人の身代わりを申し出て、人柱になり工事は無事成功しました。絵島の供養塔は、彼の菩提を弔うために清盛が建立したそうです。

絵島は万葉の昔から月の名所としても有名で平家の人々も訪れていたそうです。今も中秋の名月の日には観月会が行われ、お茶会や演奏会があります。俳句の募集もあり、優秀句は吟詠されています。今年の3月には平家を偲び、武具をつけた子どもたちのパレードが行われました。



岩屋 平家めぐり

開鏡観音寺

宇治川の戦いの時、「生月」に乗った佐々木四郎高綱と「摺墨」に跨った梶原源太景季が先陣争いをし、勝った「生月」の生まれた記念碑があります。このお寺は、淡路西国33番打止めの寺で、1月の第3日曜日には、山伏による豪快な湯立てが行われています。秋は紅葉や银杏の黄葉が美しいです。

応援隊：竹代 結・平松 文子



平通盛とその家来達の
霊を弔う供養塔



東浦 花さじき みちもりさん

大石ぼとけ(平通盛)と8つの小石ぼとけ(家来達)

平家供養塔 源平一の谷合戦に敗れこの地に逃れ来て相果てたと伝えられる平家の武将 平通盛とその家来達の霊を弔う供養塔。通盛は、大石ぼとけ。家来達は、小石(8つ)ぼとけとされています。

寿永3年(1134年)2月、淡路の対岸一の谷(神戸市須磨区)で源氏と平家の戦いがありました。源義経の鶴越(ひよどりごえ)作戦や青葉の笛の平敦盛が討たれた有名な戦いです。敗れた平家は船で屋島へ逃れましたが、その時、海上で最後まで戦った平家の武士たちは領地であった淡路へ上陸して兵を休めました。やがて、源氏の追討軍が攻めてきて現在の“夢舞台”あたりで激しい戦いが行われました。今でも「血の涙の滝の水」とか「血笹」の伝説が残っています。

「ミチモリさん」と呼ばれ、現在でも付近の人たちがお供えものをしてお祀りするこの碑は、源氏の大群に攻められた平家の武士たちが今の「花さじき」あたりに隠

れ住み、自分たちの大将であった平通盛や、一門の人達を供養するために造ったものと言われています。

このあたりには、今でも「平さん」という姓の家があり、平家に関係のある地名や伝説がたくさん残っています。人に知られることの少なかった平家の落人の里が、明石海峡大橋の完成によって花いっぱい「花さじき」として全国の方に来ていただくことになりましたが、花いっぱいの陰には悲しい歴史があるのです。みちもりさんの碑は、花さじきの展望台下片すみにひっそりと建てられています。応援隊：岡 まさよ

参考資料 続むかしばなしひがしうら
(東浦老人クラブ連合会発行)





だんじりの周囲を飾る平清盛

ここにも平清盛が！！

壇尻修復委員長 上川 泰右さんにお話を伺いました。

春祭りには壇尻でにぎわう南あわじ市。志知中島上所地区は戸数約50数軒、祭礼団17名の小さな地区ですが、ここにも自慢の壇尻があります。昭和の初期に作られた壇尻が老朽化したため3年をかけて修復。平成17年に完成しました。水引幕を新調することになり、数々の見本の中から選ばれたのが「平清盛と宮島弁

財天」。安芸の厳島神社を修理し、参詣した清盛の前に現れた美しい宮島弁財天が「この剣をもって天下を鎮めよ。」という言葉と共に清盛の目の前に残された銀の蛭巻の小刀。そのワンシーンを真っ赤な地布に金の手刺繍で再現します。逆巻く波、力強い大きな龍、そして力強い武士・清盛とその息子。そしてかたわらに立つ弁財天。壇尻の周囲を飾る一大絵巻です。志知中島地区の神社は、極めて急な坂の上にあります。ともすれば後ずさりしそうになる壇尻を「無事にあれ」と見守る清盛と弁財天です。 応援隊:村上 紀代美

今春発売のリシェ淡路島にもこの壇尻が紹介されています。



室津小学校3年生が、びわ栽培の勉強で袋がけをしました。どの子の顔も真剣そのもので袋と針金を持って実を落とさないように気をつけながら袋をかけました。子ども達は、6月の収穫を楽しみにしています。



初夏を飾る果物「枇杷」は、甘くて **初夏の味覚** ジューシー。梅雨のうっとうしい時に食べると疲れもどこかに吹っとぶぐらい美味しいです。

北淡地区のびわ栽培は約180年前に移植されたのに始まります。土地・気候などがびわ

枇杷

びわ



びわ山

栽培に適しているようです。びわは、冬に花をたくさん咲かせます。花は2度3度間引き、最終的には1～3個に摘花して4月下旬ころまでに袋をかけます。自然の恵みをたくさん受けたびわは、6月中旬頃から食べごろとなります。びわが食べごろになると、まず山に住むカラスが先に味見をして「もう食べごろだよ」と教えてくれます。現在は、びわの木に袋がかかり遠くから見ると、びわ山全体に白い花が咲いているようでとても美しいです。生産農家の人たちが、一年間を通して世話をしているびわ山に入ると、びわの葉が「今日もありがとう」と頭をさげるくらい丹精を込めて生産してきた昔からの歴史がびわの木にあります。子育て同様、愛情をこめて栽培することの大切さをあらためて感じます。 応援隊:廣岡 ひろ子



びわ丸ごと活用術

葉
びわ茶
ブレンドすると美味しい
びわの葉酒 1日盃1杯



種

煮種 黒豆と同じ味になります。

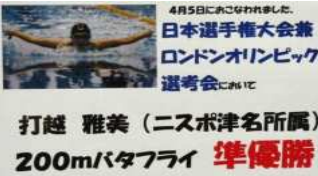
孫が名づけた**魔法の薬** 果実酒につけ込むと虫刺され乾燥肌に効きます。



葉 幹

びわの葉染め
自然の色合いが素敵。

- 洲本市在住の水泳選手 打越 雅美選手
- 新ひょうご風土記カルタ



洲本市在住の世界的スイマー 打越 雅美 選手



淡路市の温水プールで日々練習をしているニス泊津名所属の打越雅美さん(24歳)を紹介します。打越さんは日中は銀行職員として笑顔で窓口業務をこなすOLさんですが、夕方からは精悍なスイマーに変身して5km~10kmを軽く泳ぎきる水泳界のアスリートです。

専門種目は個人メドレーとバタフライで、4月に東京で行われた日本選手権水泳競技大会(オリンピック選考会)ではどちらも決勝に残り、テレビのライブ放送で色白の美人顔と独特のバタフライフォームを披露してくれました。安乎保育所の時にスイミングスクールに通い始め、高校時代と大学時代は水泳部に所属し、水泳歴は約20年。

とても自然体で無理なく、無駄なく、きれいなフォームを身につけ、25Mプールを数十秒で往復してしまい、撮影の時はカメラで追うのがやっとでした。

取材時は韓国済州島の兵庫県水泳連盟の強化合宿後で、5月末のジャパンオープンに向けての調整中でしたがとても気さくに返答してくれました。アスリートにしては華奢な体型のせいか、普通のお嬢さんに見えますが、泳ぐとすごいんです~って印象でした。これから水泳を始め淡路島のちびっ子スイマー達の良いお手本選手として、島民全体で応援しましょう。

応援隊: 田村 ひろ子・コーディネーター 川原 雅代

高校3年の時パンパシフィック選手権で銀メダルを獲得し世界デビューした打越さん。今は水泳と仕事を両立させながら、次のオリンピックに向け早朝から夜遅くまで担当コーチと共に練習に励んでいます。さあ、島民全員が「チーム打越」となって淡路で頑張る彼女を応援し、4年後のオリンピックに送り出しましょう!!

新ひょうご風土記カルタ

子どもの絵と文章でできた地元素材のカルタ

1300年前の「風土記」を現代的な視点で子どもたちと甦らせようと、昨年度より兵庫県立考古博物館のよびかけで作成していた「新ひょうご風土記カルタ」。

県内の小学生が、自分たちの暮らす街の歴史や自然風土、産物などをカルタにより表現しようという取り組みでした。700枚を超える応募の中から44文字分の作品が選ばれ、この程、楽しいカルタになり県内の小学校に配布されました。

その中で8名もの「あわじっ子」の作品が選考に残り、さまざまな角度から淡路島の名所・史跡・産物を県内のみなさんに紹介してくれました。普段何気なく見ている景色や物が、淡路島の歴史だったり自慢だったり...。「あわじっ子」たちが淡路島を誇りに思っている気持ちが伝わってきて、とてもうれしくなりました。改めて淡路島って素敵なところですね!!

応援隊: 水田 未央子



◎とれたての玉ねぎみんなのところへ出発だ



◎夕日で光る海とってもきれいな慶野松原



◎空にそびえるおのころの大鳥居



◎ぐらぐら揺れた忘れちゃいけない防災の心



◎むかしはねタコつぼ漁がさかんだよ



◎懐の国のなぞにせまるよ五斗長の鉄器工



◎洲本城青空たかくどうどうと



◎ぬぼこから落ちたずくが淡路島



◎わ

★淡路文化会館からのお知らせ★

淡路人形浄瑠璃魅力発信事業

野掛什公演

見学無料

日時：6月3日（日）13:00～15:00
場所：淡路ハイウェイオアシス イベント広場
（雨天：オアシス館）

出演団体：淡路人形芸舞組、西淡鳴潮

京都公演

日時：7月8日（日）
13:30～
16:00

場所：八坂神社能楽堂

出演団体：淡路人形座

南あわじ市立三原中学校郷土部



昭和33年五色町鮎原天神

(写真撮影：宗 虎亮氏)

淡路文化会館生活創造情報プラザ

グループ登録募集

※グループ登録すれば、淡路文化会館の一部スペースが無料で使えます。

登録できるグループ

- ・淡路地区に活動拠点があること
- ・地域文化、子育て、健康福祉、緑化等生活創造活動を行っていること

※営利目的、政治・宗教目的の活動などには利用できません。

★淡路消費生活センターからのお知らせ★

◆便利なネットショッピング ここに注意しよう◆

よくあるトラブル事例！

- ★商品が届かない。
- ★注文していない商品が届いた。
- ★サイズが合わない・イメージが違ったが
返品・交換ができない。
- ★お試しのつもりで注文したのに
定期購入になっていた。

基礎知識♪

クーリング・オフとは「頭を冷やす」という意味で、消費者が契約した後で冷静に考え直す時間を与え、一定期間内であれば無理由・無条件で契約を解除できる制度のことです。

ただし、クーリング・オフが出来るのは、訪問販売などの特定の取引に限られています。

ネットショッピング(通信販売)にはクーリング・オフ制度がありません。返品特約は各ショップにより異なるため、注文前によく確認することが大切です。

ネットショッピングはパソコンや携帯から気軽・手軽に利用でき大変便利です。しかし、事前に商品を確認できない、売り手側の顔が見えないなど、不安な面も多々あります。

面倒でも契約の詳細な内容や返品のルールをよく確認してから申し込みましょう。

安全で気持ちの良い取引をしたいものです。

兵庫県淡路消費生活センター 商品や契約についてお気軽にご相談ください。

◇消費生活相談・多重債務相談 電話0799-23-0993

9:00～12:00 13:00～16:30 (土日祝日・年末年始は除く) (電話受付)



イベント・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00 (最終入館17:30)	ホワイトガーデンショー -食虫植物の華麗な庭-	6/1(金)~ 7/8(日)	入館料のみ、 大人600円、 65歳以上(要証明) 300円、 高校生300円、 中学生以下無料
	サマーオーキッド ガーデンショー -K.T.S.原種カトレヤ展-	6/9(土)~ 6/24(日) ※6/10(日) バサラダンス上演	
	辻本智子のガーデニング教室 「水生植物を楽しむ」	6/23(土) 13:30~ 定員15名	参加費3000円、 要予約 別途入館料必要
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	第10回 淡路ミニバスケットボール 優勝大会 兼 第33回 兵庫県ミニバスケットボール 優勝大会淡路地区予選	6/9(土) 9:30~ 6/10(日) 9:30~ 6/16(土) 9:30~ 6/17(日) 9:30~ メインアリーナ 『しおさい館』	観覧無料 淡路ミニバスケットボール 連盟 担当:西野 TEL:090-1072-2233
	芝小百合バレエ教室発表会	6/17(日) 開場 13:30 開演 14:00 終演 17:00 文化ホール 『しばえもん座』	芝小百合バレエ教室 担当:芝 小百合 TEL:0799-42-1108
	洲本ライオンズクラブ 献血運動	6/20(水) 9:30-15:30 西駐車場	洲本市健康福祉部 健康増進課 担当:稲垣 TEL:0799-22-3337
	和太鼓MIKAWA 淡路島初単独コンサート 「浜風」	7/1(日) 開場 13:00 開演 13:30 終演 15:00 文化ホール 『しばえもん座』	前売1,000円 当日1,300円 ※席が不要な3歳未満の お子さんは無料 チケット受付/美かわ屋 担当:窪田 TEL:090-8388-7381
淡路市立津名温水プール 〒656-2224 淡路市大谷169-イ号-1 TEL 0799-64-2269 FAX 0799-64-1599	第7回淡路市 こどもすいじょう運動会	7/1(日) 9:00~12:00 淡路市立津名第二温 水プール	淡路市立津名温水プール 津名スイミングスクール 水上運動会担当:柳井

ギャラリー・インフォメーション

所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	写淡四季2012年写真展	6/8(金)～6/24(日) 9:00～17:00 ※展示室	鑑賞無料
	第28回アワジネイチャー フォトクラブ展	6/8(金)～6/24(日) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	
	戸塚ししゅうミニ展	6/26(火)～7/8(日) 9:00～17:00 ※展示室	
	画木 -gaboku-	6/26(火)～7/8(日) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	環境ポスターコンテスト 6月5日の世界環境デーにちなみ、幼児、小学生を対象に環境ポスターコンテストを開催します	募集期間： 5/15(火)～6/30(土) テーマ： 「淡路島の自然を守ろう！」 ※応募作品の中から3点を選び表彰いたします ※応募作品は8月1日～31日までロビーにて展示します	市民交流センター TEL 24-4450
	三島博士パネル展 三島徳七・三島良績両先生の年表・研究の成果をパネルにして展示します	6/1(金)～6/15(金) 9:00～21:00 月曜休館 7-ルギャラリーにて	観覧無料
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	淡路ハンドメイドクラブ 作品展示会	6/16(土)～17(日) 10:00～17:00 初日は11時より	淡路ハンドメイド クラブ 担当者:小原(コハラ) TEL:0799-26-1818



編集だより

4/28・29の2日間「城下町洲本レトロなまち歩き」が開催されました。両日ともに晴天にも恵まれ、2日間で8,000人の来場者に古い空家や倉庫を活用したアート小物の展示・販売やカフェを巡る“まち歩き”を楽しんで頂けました。事前PRやチラシ配布に協力頂いた応援隊メンバーやOBの方など、たくさんの方に声を掛けて頂き感謝、感謝でした…。

近頃、人通りもすっかり少なくなった通りに、数十年ぶりの賑わいが戻った夢のような2日間でした～笑 応援隊 栄 宏之

「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。

淡路文化会館のホームページ【<http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>】でご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、まちの情報をお待ちしています。下記までお気軽にどうぞ！

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館
〒656-1521 淡路市多賀600
TEL 0799-85-1391
E-mail a-pocket@hyogo-ikigai.jp

